

TestRailへ取り込むための Excel修正の指針



TestRail上にテストケースを作成する場合、TestRailのUIから作成する方法とCSVファイルによるインポートにて作成する方法があります。

CSVファイルによるインポートを行う場合、既存のExcelを使うことが多いかと思います。その際、Excel固有の機能を使ってテストケースが作成されていると、CSVファイルへの変換が上手くいかない、TestRailへのインポートの際に意図した結果にならない、といった可能性があります。

Excelでテストケースを修正する際の指針をまとめました。



原則：1行に1テストケースとして必要な情報をすべて含める

TestRailへのインポートの際、CSVファイルの1行が1ケースとして扱われるため、1行にテストケースとして必要な情報をすべて含める必要があります。

番号	タイトル	重要度	種別	事前準備	テスト手順	結果の確認方法
1	(テストケース追加) 組み込みの印刷プレビュードライバを使用して版式のレンダリングを確認する	1	パフォーマンス	パフォーマンス計測用マシン（要予約）それ以外の準備物は[C1]を参照。	1. プロジェクト選択画面：Demoを開く 2. 耐久テスト用テストデータを選択する 3. 画面表示が正しく行われるかを確認する	* 過去の耐久テスト結果と比較し、**誤差範囲(5%）**以内であること。 * 誤差範囲を超える場合は開発担当者へ確認を依頼。
2	(テストケース追加) プリンタドライバの印刷プレビューと実際の出力を比較する	3	マニュアル記載	最新のマニュアルを準備すること。	* インポートメニューからテストデータをアプリケーションに反映させる。 * 設定メニューから、デバッグモードをONにして保存する。	以下の基準を満たすこと。 **チェックリスト参照！** * テスト対象ブラウザのテスト用解像度にて画面のレイアウトが崩れないこと * 言語設定に準じた言語でメニューが表示されること * ユーザー個別レイアウトが読み込まれること * 新規ユーザーにおいてデフォルト設定の画面が崩れずに表示されること
3	(テストケース追加) インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する	2	互換性	旧バージョンの出力用テストデータを準備する。	1. プロジェクト選択画面：Demoを開く 2. 文書選択画面へ遷移する 3. 「文書確認」から「バージョン確認」へ遷移し、1つ前のバージョンを選択する 4. 差分レポートを出力し、HTMLを選択する 警告ダイアログが表示された場合は「はい」を選択	差分出力が正しく出力され、表示できること。
4	(テストケース追加) 文書内のインラインテーブルに番号付きリストを追加する	3	マニュアル記載	最新のマニュアルを準備すること。	1. プロジェクト選択画面：Enduranceを開く 2. パフォーマンステスト用テストデータを選択する 3. 画面表示が正しく行われるかを確認する	* 過去のパフォーマンス測定結果と比較し、誤差範囲(5%) 以内であること。 * 誤差範囲を超える場合は開発担当者へ確認を依頼。
5	(テストケース追加) 文書属性（作成者、タイトル、組織）を変更する	3	マニュアル記載	最新のマニュアルを準備すること。	* パフォーマンスチェックリストを参照にテスト対象機能を操作する。 * チェックリストの結果を元に、操作のレスポンスを計測し、結果を記録する。	以下の基準を満たすこと。 **チェックリスト参照！** 結果ごとに以下を行う * A:問題なし * B:軽微な改善事項として起票、フィードバック * C:修正可否の判断を開発担当者へ依頼 * D:不具合として起票

1行にテストケースとして必要な情報がすべて含まれている

インポートが上手いExcelファイルの例

NG例：セルを空白にする



Excelでは以降の行に同じデータが続くことを表現する際、空白を利用することがあります。Excel上でテストを実施する場合はこれで意味が通じます。しかし、インポートする場合は2, 3行目は「種別」が空の状態ではインポートされてしまいます。



番号	タイトル	重要度	種別	事前準備
1	(テストケース追加) 組み込みの印刷プレビュードライバを使用して数式のレンダリングを確認する	1	パフォーマンス	パフォーマンス計測用予約) それ以外の準備を参照。
2	(テストケース追加) プリントドライバの印刷プレビューと実際の出力を比較する	3		最新のマニュアルを参照。
3	(テストケース追加) インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する	2		旧バージョンの出力データを準備する。
4	(テストケース追加) 文書内のインラインテーブルに番号付きリストを追加する	3	マニュアル記載	最新のマニュアルを参照。

2, 3行目の「種別」は空の状態ではインポートされてしまう

NG例



番号	タイトル	重要度	種別	事前準備
1	(テストケース追加) 組み込みの印刷プレビュードライバを使用して数式のレンダリングを確認する	1	パフォーマンス	パフォーマンス計測用予約) それ以外の準備を参照。
2	(テストケース追加) プリントドライバの印刷プレビューと実際の出力を比較する	3	パフォーマンス	最新のマニュアルを参照。
3	(テストケース追加) インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する	2	パフォーマンス	旧バージョンの出力データを準備する。
4	(テストケース追加) 文書内のインラインテーブルに番号付きリストを追加する	3	マニュアル記載	最新のマニュアルを参照。

正しい例

右図のように同じデータであってもコピーしてすべてのセルに値が存在する状態で作成してください。

NG例：セルを結合する



空白と似たものとしてセルの結合があります。結合されたセルが存在するExcelをCSVファイルに変換すると、その時点で結合が解除され、元々の値は1行目にしか存在しなくなります。



番号	タイトル	重要度	種別	事前準備
1	(テストケース追加) 組み込みの印刷プレビュードライバを使用して数式のレンダリングを確認する	1	パフォーマンス	パフォーマンス計測用予約) それ以外の準備を参照。
2	(テストケース追加) プリントドライバの印刷プレビューと実際の出力を比較する	3		最新のマニュアルを参照。
3	(テストケース追加) インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する	2		旧バージョンの出力データを準備する。
4	テーブルに番号付きリストを追加する	3	マニュアル記載	最新のマニュアルを参照。

結合が解除されると、2, 3行目の種別が空白になってしまう

NG例



番号	タイトル	重要度	種別	事前準備
1	(テストケース追加) 組み込みの印刷プレビュードライバを使用して数式のレンダリングを確認する	1	パフォーマンス	パフォーマンス計測用予約) それ以外の準備を参照。
2	(テストケース追加) プリントドライバの印刷プレビューと実際の出力を比較する	3	パフォーマンス	最新のマニュアルを参照。
3	(テストケース追加) インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する	2	パフォーマンス	旧バージョンの出力データを準備する。
4	(テストケース追加) 文書内のインラインテーブルに番号付きリストを追加する	3	マニュアル記載	最新のマニュアルを参照。

正しい例

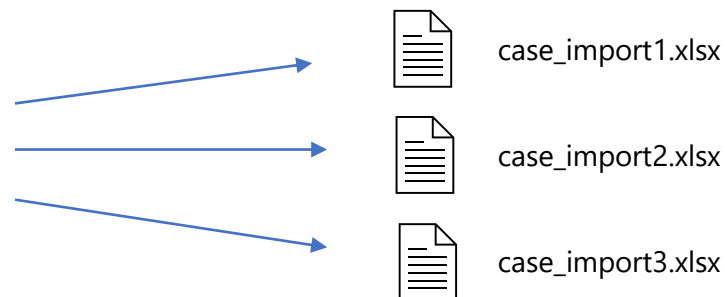
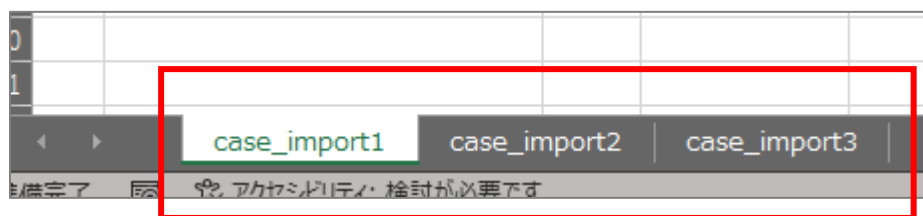
右図のように結合は利用せず、データをコピーしてすべてのセルに値が存在する状態で作成してください。

NG例：シートを複数に分ける



Excelファイル内に複数のシートが存在すると、CSVファイルに変換しても一つのシートしか変換されません。

Excelには複数シートではなく一つのシートでテストケースを作成するようにしてください。もし分類が異なるためシートを分けておきたいという理由がある場合はファイルを分けて作成ください。





NG例：ヘッダー部を作成する

テストの方針や補足情報を記載したヘッダー部を作成することがあるかと思います。厳密に言うとヘッダー部を作成すること自体はNGではありませんが、テストケースとは別にフリーフォーマットで書かれている場合が多いため、インポート対象とはなりません。

案件番号	B-124365	担当チーム	A-2
責任者	山田	機能	マニュアル

番号	タイトル	重要度	種別	事前準備
1	(テストケース追加) 組み込みの印刷プレビュードライバを使用して数式のレンダリングを確認する		1 パフォーマンス	パフォーマンス計測用マシン(予約) それ以外の準備物は[C1]を参照。
2	(テストケース追加) プリンタドライバの印刷プレビューと実際の出力を比較する		3 マニュアル記載	最新のマニュアルを準備すること。
3	(テストケース追加) インラインテーブルのスペースとインデントの計算を確認する		2 互換性	旧バージョンの出力用テストデータを準備する。

ヘッダー部に書かれた情報については、新しく列を追加して各行に同じ値を記入する、もしくはTestRailのテストスイートやセクションの説明欄に転記することを推奨します。※

※イメージは次ページを参照。

(補足) TestRailのテストスイートの説明欄にヘッダー部を転記した例



← ダッシュボードに戻る

1. サンプルプロジェクト

概要 TODO マイルストーン テストランと結果 **テストスイートとケース** レポート

S2 マニュアル...

共有テスト手順 欠陥 レポート テストランの追加 編集

案件番号	B-124365
担当チーム	A-2
責任者	山田
機能	マニュアル

説明欄にヘッダー部の情報を記入可能

ソート順: セクション フィルター... 削除されたテストケースの表示 + ケースの追加 編集 削除 列

前提条件 5

ID	タイトル	タイプ	参照	テンプレート
C6	テストデータベースmmdb1を...	マニュアル記載	32	探索的テスト
C7	文書のマージンを変更し、P...	耐久		テストケース(テキスト)
C8	文書に脚注を追加して脚注...	マニュアル記載		テストケース(手順)
C9	組み込みテーマを文書に適...	受け入れ	42	テストケース(手順)
C10	文書内のインラインテーブル...	マニュアル記載	7	テストケース(手順)

ケースの追加 | サブセクションの追加

C6 テストデータベースmmdb1を使用して差し

タイプ	優先度	見積り
マニュアル記載	Critical	4 分
自動化種別	None	

チャーター

対象: プロジェクト登録機能
利用するもの: 最新版のドキュメント

ゴール

結果として下記を残すこと。

- テストの実施時間
- テスト中の気付き
- テスト中に遭遇した課題
- バグ(候補)の個数
- バグと思われる挙動の詳細

添付ファイル

入力用文字列.xlsx
Excel ドキュメント, 47K

Copyright © TechMatrix Corporation. All rights reserved.

8



END